



国際児童年1979

今年も国際児童年



わが子への愛を
世界のどの子にも
今年も国際児童年です。
この国際児童年は昨年の第三
十一回国連総会において、一
九七九年を国際児童年として

津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(代表3111番)
編集編集委員会
印刷所 旭印刷所
電話(水保)④4101番

宣言されたものです。
今日の国際社会では、開発
や経済協力に関する関心は高
まる一方ですが、発展途上国
を主に、毎日の生活に必要な
基本的欲求にも事欠く子ども
達がたくさんいることは見過
されがちです。
そこで、改めて世界の児童
に注意を向け、彼らの現状及
び将来に対する国際社会の責
任を再確認するために設けら
れたものです。
特に、一九七九年が国際児
童年に選ばれた背景には、今
年が「児童の権利に関する宣
言」が採択されて二十周年に
あたるところです。
わが国においても種々の施
策が練られ、熊本県では子ど
もの日を中心とした事業など
が計画されています。
そこで、私達津奈木町の町
民一人一人が、子ども達のた
めに何を考え、何をするか、
町内における児童、生徒の問
題を根本的に考え直す機会を
もつと増やしたいものです。
この意味で去る二月十一日
津奈木中学校で開催された町
PTA研究集会は極めて有意
義なものでした。
またこれらのことで次の方
々に児童・生徒に対する家庭
教育のあり方等について、御
意見をいただきました。
私達の課題としてとらえて
みましょう。

国際児童年におもふこと 永松史子
今年も国際児童年だとか。
私は人の親となつて十年。今
では、PTAの一会員として
「母が育てば子は育つ」を心の
礎に子供の為、自分の為、勉
強を続けていますが、現代社
会が核家族化が進み、暮しは
豊かに便利化されたのに暇が
出来過ぎ、マスコミを賑わし
ているような子供達を作り出
す結果を招いている。古人曰
く、「心にかけても手にかける
な」と。先頃亡くなった坂
東先生のお言葉に、「親は子の
価値を認め、能力と発達に応
じた躾をし、それ以上の命令
強制をしてはならぬ。親は子
の情を受け容れてやるべきで
相手の喜びを喜び、悲しみを
悲しんでやらねばならない」
とあります。先日見た映画「今
できること」に出て来た芦北
学園の子供達や中東諸国で戦
いの犠牲となつて子供達を
見るにつけ、次代を担う子
等を幸せにしてやるのは我々
大人の義務、責任なのだ痛
感します。I・Y・Cのスロー
ガンにあるように、「我が子へ
の愛を世界のどの子にも」の
輪を大きく広げて行くのでは
ありませんか。
とあります。先日見た映画「今
できること」に出て来た芦北
学園の子供達や中東諸国で戦
いの犠牲となつて子供達を
見るにつけ、次代を担う子
等を幸せにしてやるのは我々
大人の義務、責任なのだ痛
感します。I・Y・Cのスロー
ガンにあるように、「我が子へ
の愛を世界のどの子にも」の
輪を大きく広げて行くのでは
ありませんか。

国際児童年によせて 山崎一光
親が喜ぶ子供とは一体どん
な子供を言うのでしょうか。何
でも親の言うことを良く聞く
子供なのか、それとも頭が良
くて自慢のできる子供か、は
たまた、心の豊かな子として強
くたくましい子供なのか。
共働きの多い現在、家庭生
活の向上、物質面の豊かにな
くらへ、子供の心は豊かにな
っていない。文化生
活を営む上には多くの収入が
必要だし、そのためには、一
家すべてが働くことになる。
然し、子供の目には、働くこ
との尊さよりも、物を求める
親の欲望と映っているような
気がします。
各種団体等でも、「親と子の
ふれあい」あるいは「親子
の対話」等家庭教育のあり方
をいかにすべきかと叫びなが
ら、本質的な追求は程遠い気
がします。
国際児童年に当り、心の豊
かな、そして強くたくまし
い子供こそ、すべての親の願
う子供ではないかと思ひ、そ
してそれはどうしたらできるか
今こそ、世のすべての親が心
を裸にして考えねばならない
と思います。

家庭教育的あり方に思う 浜田 亮

最近では学校教育と家庭教育
とが本来の姿を見失つて、家
庭教育と家庭学習とをとり違
えている風潮があるとか。家
庭教育は日常の家庭生活の中
から、子供の健康な心と身体
をつくり、豊かな情操を育て、
社会人としての基本的な行動様
式を身につけさせることだと
聞いています。
ヨーロッパ諸国やアメリカで
は、厳密な宗教的雰囲気か、
家庭教育の柱になって、人間
形成に役立っており、我が国
でも昔はどの家にも親代々の
「家風」とか「家訓」とかが
あり、子供の少々のいたすら
は許しても、「ウソをいったら
許さない」とか「他人に迷惑
をかけたなら許さない」とか何
とあります。先日見た映画「今
できること」に出て来た芦北
学園の子供達や中東諸国で戦
いの犠牲となつて子供達を
見るにつけ、次代を担う子
等を幸せにしてやるのは我々
大人の義務、責任なのだ痛
感します。I・Y・Cのスロー
ガンにあるように、「我が子へ
の愛を世界のどの子にも」の
輪を大きく広げて行くのでは
ありませんか。

とあります。先日見た映画「今
できること」に出て来た芦北
学園の子供達や中東諸国で戦
いの犠牲となつて子供達を
見るにつけ、次代を担う子
等を幸せにしてやるのは我々
大人の義務、責任なのだ痛
感します。I・Y・Cのスロー
ガンにあるように、「我が子へ
の愛を世界のどの子にも」の
輪を大きく広げて行くのでは
ありませんか。

53年度の学級開設をふりかえって

平国家庭教育学級、乳幼児
家庭教育学級、青年教室、P
TA地域活動、老
友大学、とそれぞ
れ、学習会を実施
いたしました。
その月により季
節的な関係もある
かと思いますが出
席数の問題(とく
に乳幼児学級)が
ものすごく多いと
きもあれば、逆に
すくない月もあり
ました。
実施する学習内
容もいろいろと検
討しなければなら
ない点もたくさん
あるようです。
いろいろと、ご
意見ご要望がある
と思います。
津奈木町教育委員会まで、
おねがいします。

乳幼児家庭学級 (敬称略)

5月	開級式。座談会	津奈木町教委
6月	幼児の病気と看護	六車 孝吉
8月	母親の役割	大崎サチエ
10月	人間教育	財部 留夫
11月	アメリカの生活	津奈木町教委
12月	家族の食事	小田 信之
1月	母と子の衛生	田中 穆
2月	親になるため	甲斐 安人
3月	閉講式	津奈木町教委

平国小家庭学級 (敬称略)

5月	開講式 年間計画	倉永 久信
6月	家庭学習の方法	前田松次郎
7月	婦人の病気	六車 孝吉
8月	人権問題	由川 二郎
9月	フォークダンス	白瀬 セイ
10月	バレーボール	溝下 隆昌
11月	アメリカの生活	由川 二郎
12月	正月料理	小田 信之
1月	一般同和	鬼塚 徳喜
2月	家庭教育について	吉田 幹夫
3月	閉講式	倉永 久信

園芸部 造花部 竹細工部・
菊花部と四部制で五十三年度
月発足、毎月一回開講し、隔
月毎に全体学習と部学習を実
施した。
全体学習は四部の学生が一
堂に会して、午前中教養講座
を持ち、午後は各部学習と言
う仕組みである。
全体学習はその都度町有識
者を講師に招へいし、各部で
は……
菊花 水俣片岡氏
造花 服部氏
竹細工 湯浦平野氏
の指導を受けたが、竹細工
部が会場その他の都合によつ
て、十一月で閉講したのは残
念なこと、来年度は構想を
新にして、再出発すべきだと
思う。
あと一回で五十三年度の老



「名木紹介」という欄で、町
内のあらゆる古木、珍木、変
り木、銘木、その他これらは
ひ残しておきたいと思われる
植物で、紹介したいと思われ
るものがありましたら、公民
館までお知らせください。
その他いろいろ面で皆様
方の投稿を歓迎いたします。

投稿 歓迎

次には私達は天津郊外にあ
る、中国人民解放軍陸軍第一
九六師団を訪問した。
毛主席の制定した「三大規
律・八項注意」の精神の下に
戦闘隊、工作隊、生産隊の三
つから編成されている。
工作隊というのは、宣伝隊
を派遣し、マルクス、毛沢東
の思想を広め、社会主義国家
の建設に務める。
生産隊は、食糧、衣料品等
の生産提供を任務とし、完全
な自給自足を営んでいる。
衣、食の生産修理のために
七つの工場を持ち、又田畑も
三千五百分(二三〇ヘクタ
ー)が与えられている。
「軍隊での自給自足をほかり
国家の負担を軽くし、さらに
は人民の為に奉仕する精神を
養う」と説明してゆかれる中
で、農、工、化、国防の四つの
目標、ソ連、米国の帝国主義に
対する批判、そして台湾の解
放を強く望んでいる。
帰りに、隊員の手旗信号
で送ってもらい、さらに、お
みやげとして隊員による歌、
劇、踊りを楽しんだ。
彼等一刻も早く、平和な
日に来ることを祈りながら。
※中国訪問を終ります。

老友大学の一年



友大学を終るに当り、月一回
ではどうも時間不足で所期の
目的を達することの出来ない
部もあり、来年度はこの方面

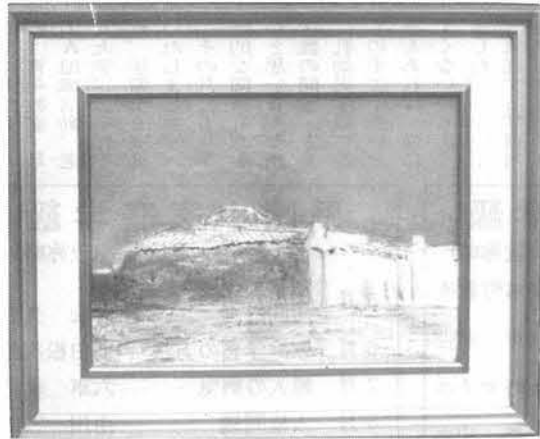
『さつき』同好会員を募る
二月二十日から四月十五日まで、みどりの推進
期間です。山や野に、そして家庭を、みどりて……
さつき同好会を結成することになりました。参
加ご希望の方は……町公民館 伊藤まで。

日中友好九州青年の船 中国訪問記 (完)

中島 晴美

昼食には、祝いの時しか炊
かないという、赤飯をこちそ
うになった。午後からいよいよ
戦闘隊の実演演習を見学し
た。演習場は解放軍本部から
車で一〇分余りの所にあり、
楊村というだけあって、楊樹
の並木が続く、緑の広がる田
園地帯にあった。
歩兵銃、機関銃、大砲等の
射撃演習、又一方では銃剣道
の猛練習と、食事を共にした
彼等の一面とは逆に、国を守
る為に武器を持つという、現
実に立ち向かわなければなら
ない中国の現状を強く思い知
られると同時に、今の我々の
幸せを痛感せずにはいられ
なかった。
帰りに、隊員の手旗信号
で送ってもらい、さらに、お
みやげとして隊員による歌、
劇、踊りを楽しんだ。
彼等一刻も早く、平和な
日に来ることを祈りながら。
※中国訪問を終ります。

津奈木の芸術(六)



林 勝さんの絵
その他
鶴野六良
林さんは熊本の草葉町でながらく産婦人科を開業しておられる長老であり、七十四歳とも思えぬ元気で庭球を続けておられる。又熊本には香美会という医師会だけでつきた絵の会があるが、林さんはその会長格でもある。画歴数十年といふところだが、実にしなやかな絵をかく人である。卵色がかつた色で下塗りした画布に濃紺の空、暗緑の木の葉がよくかかれるようだが、

林 勝さんの絵
その他

鶴野六良

しばしば絵具を指先でなすりつけておられる。又土塀、壁などを描く場合、鳥取砂丘からもって来た砂を絵具にまぜ込んで描かれる。林さんはどことなくかといえはめったに描かない人だが、日本アルプスなどの山の絵、足摺岬などの海の絵をかくたりどちからかといえ風景画が多い。旅情をそのまま画布に残す抒情性に私は共感をおぼえる。公民館報でみる林さんの絵は白黒で出されるのでしなやかな色彩が見られないのは残念なことである。



はまわるのかかえなくてもいいからべりです。しゃもじも大きくりようは

うの手で、まぜなきやまぜきらないので、きつそうです。ね。にんじんなんかを、きるのものはじめて見ました。スイッチをおすとにんじんがどんどんきれました。かちようさんが「千人ぶんのきゅうしよくをつくつとよ」といつたので、びくつきしました。大きないとうこも見せてくれました。手を入れたらとてもつめたかったです。すいどうやながしだいはいっぱいありました。あらうときや、つくるとき

婦人会だより

倉谷婦人会

十一月二十三日勤労感謝の日、私達倉谷婦人会は、公民館の協力をえて、体育館を借りて午前中バレーボール大会を行いました。会員一同新調したユニホームに身をつみ、朝九時に十台の車に分乗し体育館へ。体育館に集った全員が輪になって準備運動をし、隣保班別に四組に分かれリーグ戦開始。始めてボールを握る人も若きも、人数がたりないので六十歳以上の人もメンバーの仲間入り。楽しい風景で

一人の怪我もなくいきいきとした姿、体育館もはりきりばかりの賑わいでした。時間のたつのも早く十二時になり、その後、舞鶴城へと車をつらね登りました。城跡の広場で、手作りの弁当を開き、なごやかな昼食。ミカンのさし入れ、写真取り、レコードをならし、おどりの披露、午前中の反省会と話はつきない。今日の催しを皆さんに喜んでもらい、又の日の計画を楽

しみに、がら舞鶴城跡見物に階段を登り、下つたりしました。道の両側には、きれいな花や色々の木が植えてあり、町当局と老友会などの方々の労苦が伺えました。岩の上から、海が見えたりあつちこちの部落が見えて改めて我が町の風景の美しさに感嘆し、すばらしいハイキングコースと展望台が津奈木町にあることを嬉しく思いました。会員の皆様には、ミカン採集、タバコ収納前で忙しい時期にもかかわらず、出席して頂き支部活動を盛りあげてくださった事本当にありがとうございます。今後も会員一同の協力をお願いします。

学校だより

きゆうしよくセンター

赤崎小学校一年 いわさき ときこ

きゆうしよくセンターのおり。ばさんいつもきゆうしよくあ



り。十八日にきゆうしよくセンターにいきました。きゆうしよくセンターに入って大きななべが、六つあつたので、びくつきしました。大きななべ

は、とてもきついでしようね。なぜきついのにはきゆうしよくをつくる人になつたんですか。ばあちゃん、わたしがかえつてきたら「きようのきゆうしよくはおいしかつたね」ととききます。わたしは、「おいしかつたよ」といいました。おかあさんが「たべてしまつたね」といいました。「このころは、みんなたべてしまつたよ」といふと「ほんとね」といつてよろこびます。

親恋笛(6)

薩摩に帰った虚無僧は、それから暫くして、京の本山に修業に出かけるため、また津奈木太郎峠を越えることになり、峠のふもとにある、おつきの墓に来て見ると、墓の上に竹が三本まゐり、親子のように生えていました。

津奈木民話 堀 二雄

虚無僧は、あ、立派な竹だ真中の竹で尺八の笛を作つたら、さぞよい音色が出るだろうと、思わずその竹を、そとと撫でて見ました。

そして、後四、五日したら故郷に帰らねばならないのでおつきの着物を着てお出かけ、苦勞して貯めたお金をふところに入れて、金らん緞子とま、いかにいまでも、

おつきによく似合う着物はなにかと、町の中を歩いて廻つていくうちに、ふところのお金を、全部、スリにあつて盗まれてしまいました。

その笛の音が、妙に多七の胸の中にしみ込んで来ます。よく耳をすまして聞いてみると、何か物を云つてゐるよう。しかし、それはおつきの声である。笛の音につれて、云つてゐる。多七には、こんなふうには聞えな



島を寝床にシラサギが生活していることは喜ばしいことである。また、平国の方では海鳥をたくさん見かけます。野鳥などの観察をする場合は、相手を驚かさないう心くばり、植物を採集する時は親株を残して、その一部を分けてもらうなど、ふるさとの自然をもっと大事にしたいものです。

家庭のしつけ

津奈木小学校校長 染 浦 俊 男

父母は子供にとって最初の教師

「父母は子供にとって最初の教師であり、家庭は子供にとって最初の学校である」といわれている。果して自分には、わが子にとって、よい親であり、よい教師であるのか、わが子にとって、わが家庭はよい学校といえるだろうか、ある中学生に関する調査によると、よい父親、いやな父親、よい母親、いやな母親の条件について、次のような結果が出ている。

よい父親として

- 相談相手になってくれる。
- 一生懸命に働いている。
- いっしょに外出したり、趣味や遊びを共にする。
- 厳しく注意したり、意見を述べてくれる。

よい母親として

- 話を聞いてくれ、相談相手になってくれる。
- いつも注意したり、意見を述べてくれる。
- 自分の幸せを後にして、子どものためにがんばる。
- 父親にしかれたとき、やさしくかばってくれる。
- 家事を一生懸命やっている。

いやな母親として

- 友だちや兄弟姉妹と比較して文句をいう。
- 感情的にしかる。
- 学校の成績のことばかり気にしている。
- 自分や友人の問題にすぐ口を出す。
- 何でも父親に言いつける。

これらの条件の一つは、家庭のしつけの面に深いかかわりをもつものと思ふ。

自然をもっと大切に

自然の中には、さまざまな生物がいます。その中で、とくに貴重なカモシカ、イヌワシ、オオサンショウウオなどすべて自然の中で生きてきたものです。



みんなが投票、みんなが楽しく、わが郷土

四月は、県議会議員選挙及び町議会議員の選挙が行われます。金のかからないきれいな選挙を実現するようにしましょう。